

# 平成7年度 黒埼町自治功労者

自治振興・教育・保健衛生などの功労者17人2団体表彰

平成7年度の自治功労者が決まりましたのでご紹介いたします。黒埼町の自治振興、教育振興、保健衛生等に尽力された方17人と2団体が選ばれ、11月13日(月)に役場議場で表彰を受けました。



笠原清夫氏  
木場1939番地

●多年本町の自治振興につくした皆さん  
◎黒埼町議会議員を昭和56年1月から平成6年6月、平成3年5月から現在まで勤められた。



永井武弘氏  
板井584番地

◎黒埼町議会議員を昭和58年5月から平成元年5月、平成3年5月から現在まで勤められた。

●教育の振興及び文化の向上について功績が顕著な皆さん



亀倉宇吉氏  
(金巻2018番地1)

◎永年彫金創作で活躍され、工芸界の育成と発展に貢献。



鷲尾サダ氏  
東京都新宿区

◎直木賞作家鷲尾雨工の文学的遺品を管理し、当町に無償で貸与された。



宮田栄門氏  
大野2930番地

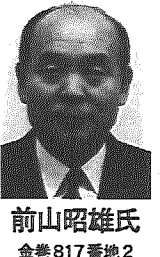
◎昭和57年6月より広報くろさきに黒埼町の今昔を掲載し、当町の教育文化の向上に貢献。



山際サ、ノ氏  
木場1495番地

◎昭和27年4月開業助産婦として当町の母子保健事業の発展に貢献。

●本町職員として誠実に多年勤続した皆さん



前山昭雄氏  
金巻817番地2

◎昭和31年4月から39年間町職員を勤められた。



丸山 幸氏  
大野3025番地19

◎昭和38年4月から32年間町職員を勤められた。



池田房江氏  
鳥原3809番地

◎昭和43年1月から27年3か月間町職員を勤められた。



戸枝貞子氏  
木場50番地2



山際チセ子氏  
木場1827番地

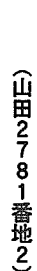
◎昭和45年1月から25年3か月間町職員を勤められた。



高橋ミサヲ氏  
白旗町大通南2丁目21番地

◎昭和45年4月から25年間町職員を勤められた。

●公益のため多額の金品を寄附した皆さん



山田小学校後援会  
(山田2781番地2)

◎山田小学校の校門門柱二柱(20万円)を寄附される。

◎社会福祉、社会教育に現金100万円を寄附される。



吉田廣英氏  
(大野3212番地4)

◎第10代消防団長として、防火思想の啓蒙普及に寄与された。



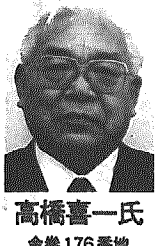
小山信夫氏  
金巻1133番地

◎特に表彰することが必要と認められるかた



石黒直正氏  
小平方780番地

◎小平方自治会長を昭和60年から現在まで務められる。



高橋喜一氏  
金巻176番地

◎金巻自治会長を昭和60年から平成2年まで、金巻総代を平成3年から現在まで務められるなど。

デビフペット(株)  
(鳥原1815番地)

◎平成6年度、7年度に100万円、計200万円を寄附される。

●多年自治会長、その他自治行政の振興につくした皆さん

## 黒埼町の 今昔

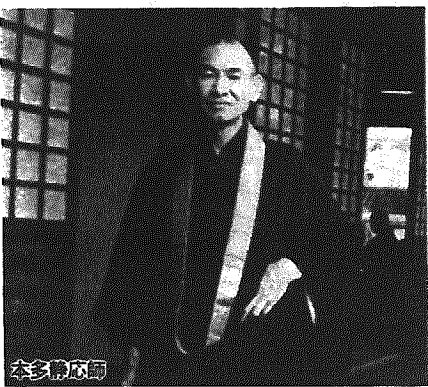
執筆 宮田栄門

### 新聞からたどる黒埼の歴史 (其)

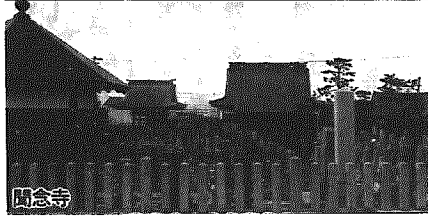
黒埼で唯一の少年団体だった大谷健児団は開念寺の住職、本多静応師によってつくられた。

まだだったという同寺の住職本多静応師によってつくられた。健児団の語源等について百科事典で調べたがわからず、聞くところによればイギリスのペーテンパウエルという人が青少年の健全育成を目的に始めたボーイスカウト運動が日本に伝わり、この趣旨に賛同する真宗大谷派傘下の寺院によって大谷健児団がつくられ、全国的な組織となった。健児団は一日一善を目標に活動し、団員の守るべき次のちかいとおきてがあった。

- ◎おきて
- (1)健児(スカウト)は誠実である
- (2)健児(スカウト)は忠節をつくす
- (3)健児(スカウト)は人の力になる
- (4)健児(スカウト)は友誼に



本多静応師



開念寺

- (5)厚い 健児(スカウト)は礼儀正しい
- (6)健児(スカウト)は親切である
- (7)健児(スカウト)は従順である
- (8)健児(スカウト)は快活である
- (9)健児(スカウト)は質素である
- (10)健児(スカウト)は勇敢である
- (11)健児(スカウト)はつつしみ深い

厚い 健児(スカウト)は礼儀正しい  
生位から本人の意志で入団し、中には新潟の上級学校に進学するため6年生で退団する者もいたが、大抵は高等科を卒業する頃まで入団していた。元健児団員、金巻の田辺伝平さんは「団員のかぶるハット(巾広帽子)から制服、ネットカチーフ、団杖(八角、六尺の檜の棒)等すべてを亡くなられたといふさまが一人で大変だったから、なかなか大変だったろう」と話し、当時、まだ小さかった開念寺の住職(故)本多静応師は、「健児団が解散させられ、戦後ボーイスカウトとして復活した時には、育成会等後援会の組織ができたからよかったが、昭和十一年、健児団のつくり

れた頃、寺は経済的に非常に苦しかったと聞いているのによくまあ、ほんとに青少年の育成に一途の人だったからでしょう」  
また、小さい頃に開念寺に入り静応師に任せ、健児団から戦後のボーイスカウト活動に師の片腕となり、永く青少年の健全育成に貢献してきた興野の星野静恵師も「こいんじよさまは子供を愛し、子供が大好きな方だった。だから、子供(スカウト)の人格は尊重しなければいけないと常々言われていた。うっかり子供の名を〇〇と呼んだら、後で何故敬称を付けないと注意されたもので、以来今でも私は母親にだっこされている子供を見て〇〇君と呼んでいませんよ」と話している。その静応師が武蔵野音楽学校を出た音楽家でもあったことから、戦後にできたボーイスカウト西蒲原第一団(黒埼隊)の音楽的水準は高く、その指導に星野隊長(静恵師の後継者)も大変苦労したということである。  
元健児団員だった人たちが静応師のことを聞いてみた。師は非常に酒が好きであった御飯に酒をかけて食べる程の酒豪であったこと。また子供たち(団員)のめんどろい見がよかった。暑がっていたら

(次号に続く)

黒埼少年団に団旗授与  
昭和十四年六月八日記事  
西蒲原郡黒埼村で唯一の少年団体たる大谷健児団は誕生より一カ年半、佛教による精神訓練はもちろん、国防献金に社会労働奉仕に、大人も及ばぬ活躍をして、その度ごと村民より賞賛の的となっておったが、今回大谷健児団本部より団旗を授与され、その樹立式を十一月一日午後一時より大野開念寺支坊において厳かに挙行することになったが、当日は三条別院から輪番も御出席になり、多数有力者の出席を願っている。

黒埼村に初めてつくられた少年団、金巻開念寺の健児団にこの度大谷健児団本部から団旗が贈られ、来る六月十一日午後一時より大野の開念寺道場において団旗の樹立式が行われることを知らせる記事である。

金巻開念寺の健児団は、昭和十一年、社会教育活動や青少年の育成運動に優れた見識を有し、何よりも子供が大好